



# 津南ロータリークラブ週報

第2630地区 ROTARY CLUB OF TSU-SOUTH



2018～2019

例会日/毎火曜日

例会場/津都ホテル 津市大門7-15

事務所/津市大門10-7

ピッチャーズビル2階

TEL 225-2373 FAX 213-6175

会長/林 裕行

幹事/飯田 聡

E-mail: src.tsu@dream.ocn.ne.jp

ホームページ: http://tsu-minami-rc.com/

## 第2546回例会 2018年12月4日(火) 天候 曇り

— 12月は疾病予防と治療月間 —



### 例会予定

- 12月11日(火) 会員卓話「レマン湖の畔」  
竹内 敏明会員
- 12月18日(火) 忘年夜間例会 18:30～
- 12月25日(火) 休会
- 1月6日(日) 新年家族例会 11:30～

### 進行担当 [千原副SAA]

国歌斉唱 ロータリーソング 奉仕の理想

### 来訪者 [林会長]

生田流琴大師範 磯輪雅楽之様

### 出席報告 [伊藤(仁)副委員長]

- 12月4日 出席率 52名中 43名 82.69%
- 11月20日 修正出席率 52名中 48名 92.31%

### ニコBOX [土田委員長]

- 林 裕行君 田島和雄会員、本日の卓話よろしくお祝い致します。琴の大師範であられる磯輪雅楽之様をご紹介いただきありがとうございます。
- 飯田 聡君 本日は月間関連卓話を田島和雄会員にお願いしております。どうぞよろしくお祈りいたします。
- 小川 恭平君 生田流琴大師範 磯輪雅楽之先生のお琴とお話しを楽しく拝聴いたします。
- 川喜田 久君 欠席が続いております。お詫び。
- 村木 正二君 田島さん、本日卓話御苦労様です！
- 刀根 大土君 田島先生の卓話、興味深く拝聴致します。澤田会員、先日はお世話をお掛け致しました。
- 田島 和雄君 卓話お聞き下さい。有難うございます。

### 会長報告 [林会長]

◆ 今年の新語・流行語年間大賞に「そだねー」が選ばれたということで、平昌五輪で「そだねー」と仲間を尊重し合いながらカーリング競技をする姿に癒されたことが思い出され、選ばれて良かったと思います。「あおり運転」も新語・流行語大賞にノミネートされていましたが、東名高速で「あおり運転」をされワゴン車を無理やり停止させられ、トラックに追突された夫婦が死亡した痛ましい事故が思い出されます。裁判員裁判の初公判で弁護側が無罪を主張したということですが、裁判員裁判の趣旨である「健全な市民感覚」がどう反映されるのか注目したいと思います。

### 幹事報告 [飯田幹事]

- ★ 本日、例会終了後、年次総会開催の件
- ★ 12月18日(火)忘年夜間例会前18:10～定例理事会開催の件
- ★ 12月18日(火) 忘年夜間例会の件
- ★ 例会変更 1件

### 12月9日(日)南友会及び忘年会の件 [岡部会員]

### 委員会報告《親睦委員会》 [日南田委員長]

- 12月会員誕生日のお祝い：  
山本 哲司君
- 12月配偶者のお誕生日のお祝い：  
今野 明子様、栗田 亮子様、旭 範子様  
高林富士美様
- 12月結婚記念日のお祝い：  
高林 学君

### 年次総会報告

- 2019～2020年度理事役員候補者(案)の件 承認

山田 俊郎君 田島会員、生田流琴大師範 磯輪雅楽之様、本日の月間関連卓話お世話かけます。ありがとうございます。

鈴木 康義君 田島会員、磯輪雅楽之様、今日はありがとうございます。よろしくお願ひします。

田島和雄会員卓話楽しみにしています！  
生田流琴大師範 磯輪雅楽之様をお迎えして！

田口 浩司君、佐々木 喬君、日南田隆司君  
千原 一典君、吹戸 研一君、大池 雅之君  
何川 高君、澤田 勝志君、吉村 哲夫君  
樋口 直人君、今西 孝彰君、旭 晋君  
中尾 哲也君、松田 英明君、奥田 邦雄君  
伊藤 孝行君、長谷川 顕一君、山本 哲司君  
竹内 敏明君、薄井 美弥君、今野信太郎君  
小泉 智英君、栗田 明君、羽根 昌江君  
山本 哲也君、大川 吉崇君、高林 学君  
土田 研輔君、伊藤 仁君

### 秋季久友会・南友会の合同ゴルフコンペ

11月25日(日) 於：白山ヴィレッジゴルフコース

優勝 岡部 宏司 6位	川出 陽一 11位	菅内 章夫
準優勝 澤田 勝志 7位	伊藤 孝行 12位	刀根 大士
3位 林 裕行 8位	村木 正二 13位	何川 高
4位 山本 和央 9位	西井 健之 B B	松田 英明
5位 竹内 敏明 10位	中尾 哲也 15位	辻原 宣和

### 会員卓話

## がん研究の光と影

田島 和雄 会員

今や日本人の二人に一人が罹患する一般的な国民病となった「がん」、その歴史は古く、世界の多くの研究者や医師がその克服のために骨身を削って研究に取り組んできた。前世紀末までには予防、診断、治療に関する国際的研究が画期的に進展し、予防・治療の可能ながんの存在が明らかになってきた。一方、原因不明なために予防不可能ながん、早期診断が困難なために完治不可能ながん、あらゆる治療に抵抗性を示す難治性のがん、などの存在も明らかにされ、今世紀におけるがん研究者への大きな課題として突きつけられた。

私が本クラブで卓話を担当するのは三回目で、第一回目はがん予防について、第二回目はがん研究の醍醐味について紹介してきた。今回はがん研究の織りなす光と影、それは次なるがん研究の進化の原動力となっている部分について触れてみたい。外科・麻酔学の進歩はがんの拡大根治手術を生み出し、その負の側面を補うために臓器温存手術に進化した。がん細胞を殺傷するための放射線治療が次なるがん

を生み出し、それはがん腫瘍のみを攻撃する照射方法や粒子線治療へと進化した。がん細胞を死滅させる過激な化学療法は生命をも脅かし、それは生命体を守る合理的な薬物療法へと進化してきた。また、外科治療、放射線治療、薬物治療に次ぐ第4治療と言われてきた免疫療法の研究は長きにわたって暗闇の中にあった。しかし、今世紀に入って本庶佑博士たちの免疫チェックポイントに関する研究成果が画期的な免疫療法を生み出し、今年のノーベル医学生理学賞の栄誉に繋がった。しかし、夢の新薬でも福音をもたらすのは一部のがん患者で、長期使用による自己免疫疾患への罹患も懸念される。

私が研究を始めた時、「研究とは対岸の見えない航海のように限りないものである」と認識していたが、今やがん研究に関しては遠くに対岸の光を認めるまでに進化しており、日本ではノーベル賞候補に挙げられるがん研究が続出している。昨年に古希を迎えた私は、他動物に比して異例に寿命の長い人間として、がんを第一志望の終末疾患、願わくば天寿がんとしてがんを受け入れたい、と考えるようになった。がん研究の究極的目標は、「がんの光と影の部分を共に受け入れ、がんと共存できる生命体を確立していくこと」と考えている。



### 例会変更のご案内

伊勢度会 R C 12月19日(水) 18:30~ 伊勢シティホテル 2F 飛鳥の間にて メンテナンス休会のため  
12月26日(水) 特別休会

※ビジター受付は、事務局にて12:30~13:30の受付とさせていただきます。

※日時、場所が変更になりました例会でもビジターでのご参加をお待ちしております。ご参加いただける場合はビジターフィー2,000円と参加費1,000円を集めさせていただきます。